

注 意 報

農技セ第5517号
令和7年9月8日

各関係機関長 殿

徳島県立農林水産総合技術支援センター
病虫害防除所長
(公印省略)

令和7年度農作物病虫害発生予察情報について

令和7年度農作物病虫害発生予察注意報第6号を発表したので送付します。

令和7年度病虫害発生予察注意報第6号

令和7年9月8日
徳 島 県

8月第5、6半旬に行った果樹カメムシ類(写真1～3)の予察灯調査において、誘殺数が平年に比べて多く、今後果樹園への飛来および被害の拡大が予想されますので、注意報を発令します。

生産現場におきましては、発生状況の把握に努めるとともに、適切な防除指導をお願いいたします。

作物名：果樹全般（特に、カンキツ類、カキ、キウイフルーツ）

病虫害名：果樹カメムシ類

(ツヤアオカメムシ、チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ)

1. 発生地域 県南部地域

2. 発生時期 9月上旬～

3. 発生程度 多（前年より多く、平年より多い）

4. 注意報発令の根拠

- (1) 勝浦町に設置した果樹カメムシ類予察灯への8月第5、6半旬におけるツヤアオカメムシ、チャバネアオカメムシ、クサギカメムシの誘殺数が1,177頭と、平年（453頭）の2.6倍誘殺された（図1）。
- (2) 高松地方气象台が9月4日に発表した1か月予報では、気温は平年より高いと予想されており、今後果樹園への飛来および加害が増加が予想される。

5. 防除法等

- (1) 8月以降は、果樹園周辺の山林や雑木林から「越冬世代の次世代の成虫」が飛来してくるので、園内を巡回し、飛来を確認したら早急に防除を行う。
- (2) スギ林やヒノキ林の隣接園では、被害が多くなる傾向があることから、特に飛来状況に注意する。
- (3) 夕方から夜間を中心に活動するため、夕方に薬剤散布を行うと効果的である。
- (4) 移動性が高いので、広域一斉防除を行い、防除効果の向上に努める。
- (5) 飛来が続く場合は、継続的な防除が必要で、合成ピレスロイド系剤（IRACコード：3A）は、多発時の防除に適するが、天敵類に影響を及ぼすので同系薬剤を

- 散布した後は、ハダニ類やカイガラムシ類の発生に注意するとともに、多用しない。
- (6) 薬剤を散布する場合は、風向きに注意し、圃場周辺への薬剤飛散防止に努める。
 なお、風の強い日の散布は控える。
- (7) 例年発生の多い園地では、多目的防災網又は防虫ネットを設置する。
- (8) 今後の発生動向については、農林水産総合技術支援センターウェブページ内、病害虫防除所の各種データ (<https://www.pref.tokushima.lg.jp/tafftsc/t-boujoshou/various-data/preliminary-guess-light/>) を参考にする。
- (9) 防除については、徳島県植物防疫指針を参照するとともに、薬剤の使用に当たっては、必ず農薬ラベル記載事項を遵守する。
 (<https://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/tokushima>)

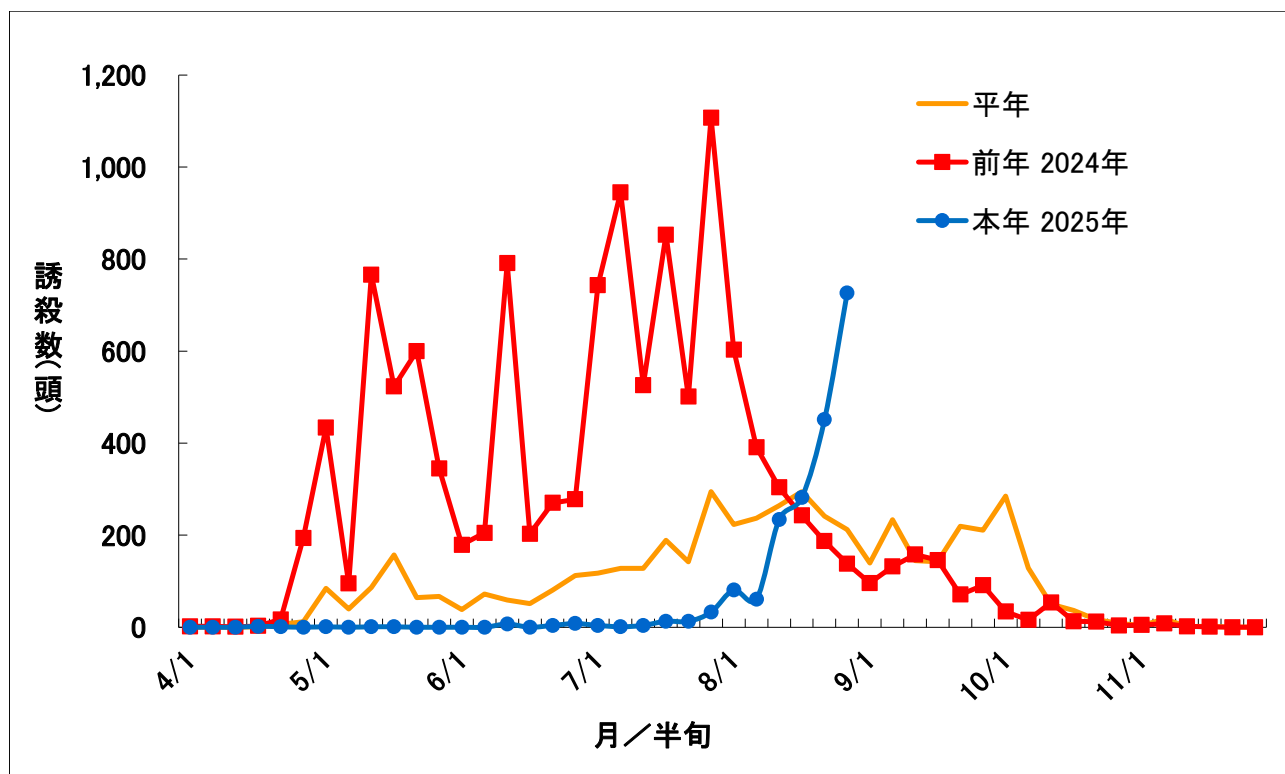


図1 予察灯における果樹カメムシ類
 (ツヤアオカメムシ、チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ) の誘殺数 (勝浦町)



写真1 チャバネアオカメムシ

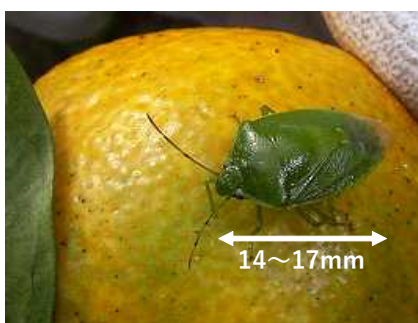


写真2 ツヤアオカメムシ



写真3 クサギカメムシ

表1 カメムシ類に登録のある主な農薬（令和7年9月1日現在）

適 用 作物名	薬剤名	希釈倍数	使用時期	本剤の 使用回数	I R A C コード
かんきつ	アディオンの乳剤	2000倍	収穫14日前まで	6回以内	3A
	アグロスリン乳剤	1000～2000倍	収穫7日前まで	3回以内	3A
	ロディー乳剤	2000倍	収穫7日前まで	4回以内	3A
	テルスター水和剤	1000～2000倍	収穫前日まで	3回以内	3A
	アクタラ顆粒水溶剤	2000倍	収穫14日前まで	3回以内	4A
	アドマイヤーフロアブル	2000～5000倍	収穫14日前まで (但し、露地栽培については発芽期から開花期を除く)	3回以内	4A
	アルバリン顆粒水溶剤	2000倍	収穫前日まで	3回以内	4A
	スタークル顆粒水溶剤	2000倍	収穫前日まで	3回以内	4A
	ダントツ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日まで	3回以内	4A
かき	アグロスリン水和剤	1000～2000倍	収穫前日まで	3回以内	3A
	テルスター水和剤	1000～2000倍	収穫14日前まで	2回以内	3A
	アクタラ顆粒水溶剤	2000倍	収穫3日前まで	3回以内	4A
	アドマイヤー顆粒水和剤	5000～10000倍	収穫7日前まで (但し、露地栽培については発芽期から開花期を除く)	3回以内	4A
	スタークル顆粒水溶剤	2000倍	収穫前日まで	3回以内	4A
	アルバリン顆粒水溶剤	2000倍	収穫前日まで	3回以内	4A
	モスピラン顆粒水溶剤	2000～4000倍	収穫前日まで	3回以内	4A
	キックオフ顆粒水和剤	2000倍	収穫前日まで	3回以内	28・4 A
	キラップフロアブル	2000倍	収穫7日前まで	2回以内	2B
	パーマチオン水和剤	1000～2000倍	収穫30日前まで	3回以内	1B・3A
キウイ フルーツ	アディオンの乳剤	2000倍	収穫7日前まで	5回以内	3A
	テルスターフロアブル	3000倍	収穫前日まで	2回以内	3A
	アドマイヤーフロアブル	2000倍	収穫前日まで (但し、露地栽培については発芽期から開花期を除く)	2回以内	4A
	アルバリン顆粒水溶剤	1000～2000倍	収穫前日まで	3回以内	4A
	スタークル顆粒水溶剤	1000～2000倍	収穫前日まで	3回以内	4A
	ダントツ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日まで	3回以内	4A